

03/28・消費低迷は増税のせい? 2015年度も前年度下回る

デフレに慣れ節約 可処分所得伸びず保険料増加 欧州は増税後も影響軽微

03/29・安全保障関連法施行 集団的自衛権行使可能に 運用は参院選以降に先送り

・米物価上層率2月1.7% FRB (米連邦準備制度理事会) 目標の2%に上昇基調

03/30・米追加利上げ「慎重に」 イエレンFRB議長、海外経済と物価懸念

「海外経済のリスクなどを考慮して慎重に進める」「物価上昇力に持続力があると言いたい」

・アジア経済5.7%に減速 (アジア開発銀行見通し) 15年ぶり低水準 < 1 >

中国変調、外需頼みに限界 存在感増すインド

03/31・人民元安 為替介入に市場は疑心 外貨準備、迫る限界 < 2 >

2月末外貨準備高3兆2000億ドル、1年余りで約6000億ドル減少 金融緩和とジレンマに

04/01・アベノミクス相場失速 15年度一転、株安・円高に 海外勢が日本株離れ

日経平均13% (2448円) 安は5年ぶり下落幅 円は4年ぶり上昇、1年で7円78銭高

・日米首脳会談 安倍首相「世界経済、G7がけん引」 米大統領「日本が主導を」

・中国四大銀行、不良債権1.5倍 景気減速、利ざや縮小

中国の資本収支、4853億ドルの赤字 前年の9倍に膨らむ

・日銀3月短観 2年9カ月ぶり低水準 製造業、景況感が悪化 < 3 >

04/02・米雇用3月21.5万人増 市場予測並み 失業率は5.0%に0.1%悪化 < 4 >

米利上げ、なお慎重姿勢 雇用、高賃金製造業で減少 低賃金サービス業が受け皿に

・日経平均594円安 景況感の悪化嫌気

・韓国の輸出、2四半期連続2桁減 1-3月前期比13%減 < 5 >

世界経済停滞 中国が自給率向上 韓国企業の海外生産拡大 構造的要因色濃く

・米新車販売3月3.2%増 原油安で大型車伸びる トヨタは苦戦2.7%減 < 6 >

・メキシコ拠点日系企業が1000超へ 5年で倍増、自動車関連がけん引

04/03・核サミット閉幕 (ワシントン1日) かすむ「核なき世界」

米の指導力低下で中朝口の開発加速招く ロシアは欠席 核兵器原料削減進まず

04/04・黒田日銀、異次元緩和4年目へ 脱デフレ長期戦に < 7 >

マイナス金利、効果に時間 副作用の影 円安にもブレーキ、日本企業先行きに警戒強まる

⇒ポイント解説 (6)、(8)、(9) 参照

・旧ソ連、民族紛争再燃 アルメニアとアゼルバイジャン

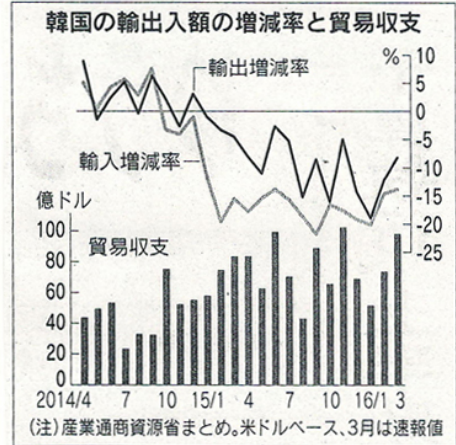
トルコ・ロシアの対立が背景に 94年停戦後、最大級の衝突 100人以上死亡か

<1>

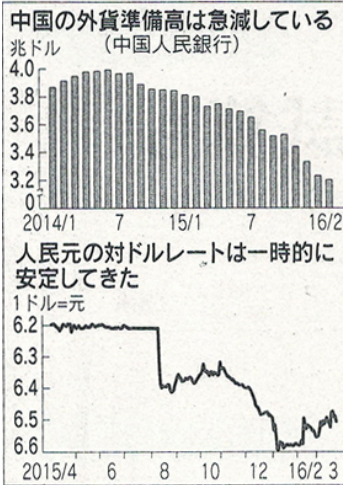
**アジア各国の景気はまだら模様**

	2015年 実績	16年 実績	15年実績 との比較
中国	6.9%	6.5%	▶
香港	2.4	2.1	▶
韓国	2.6	2.6	▶
台湾	0.7	1.6	▶
インド	7.6	7.4	▶
インドネシア	4.8	5.2	▶
マレーシア	5.0	4.2	▶
フィリピン	5.8	6.0	▶
タイ	2.8	3.0	▶
ベトナム	6.7	6.7	▶
45カ国・ 地域合計	5.9	5.7	▶

<5>



<2>



<3>

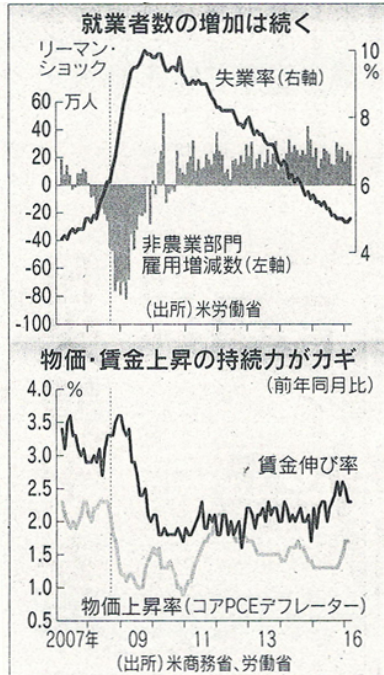
▼全国企業短期経済観測調査(短観) 民間企業の経営者の心理や事業計画を示す経済統計。日銀が3カ月に1度、業況が「良い」「悪い」かを、設備投資計画などを

聞いている。調査対象企業が全国約1万1千社と多く、特に大企業製造業の業況判断は景気の現状を把握する重要な指標となる。回答期間は2月25日～3月31日。

<6>



<4>



<7>

